



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 岩手銀行
 コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 田口 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 佐々木 泰司 TEL 019-623-1111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 特定取引勘定設置の有無: 無

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,052	13.2	2,542	112.5	1,961	80.7
2019年3月期第1四半期	13,886	16.4	1,196	48.2	1,085	31.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,355百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 532百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	109.46	109.17
2019年3月期第1四半期	60.59	54.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,520,323	202,672	5.7
2019年3月期	3,509,420	200,944	5.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 202,486百万円 2019年3月期 200,735百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		35.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	10.3	1,700	25.6	94.89
通期	6,000	5.1	4,000	4.4	223.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	18,497,786 株	2019年3月期	18,497,786 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	577,399 株	2019年3月期	582,641 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	17,915,525 株	2019年3月期1Q	17,907,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業的前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

※ [説明資料] 2020年3月期第1四半期決算の概要【単体】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益や有価証券関係収益が減少したことなどから、前年同期比18億34百万円減の120億52百万円となりました。

経常費用は、与信関連費用が減少したことなどから、前年同期比31億81百万円減の95億9百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比13億46百万円増の25億42百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同8億76百万円増の19億61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期の財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、公金預金の減少を主因として前連結会計年度末比823億円減少し3兆1,351億円となりました。

貸出金は、個人向け貸出が増加した一方、法人向け貸出や地方公共団体向け貸出が減少したことなどから、前連結会計年度末比217億円減少し1兆7,733億円となりました。

有価証券は、社債等の残高が増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,088億円増加し1兆3,278億円となりました。

(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績につきましては、2019年5月10日に公表いたしました第2四半期（累計）の業績予想計数を上回って推移しておりますが、与信関連費用等が変動する可能性があることを考慮し、業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
現金預け金	394,250	188,747
コールローン及び買入手形	—	128,000
買入金銭債権	5,630	5,424
金銭の信託	12,775	12,669
有価証券	1,219,001	1,327,895
貸出金	1,795,099	1,773,363
外国為替	2,158	2,317
その他資産	62,628	64,222
有形固定資産	16,971	16,668
無形固定資産	1,038	983
退職給付に係る資産	4,523	4,620
繰延税金資産	421	413
支払承諾見返	7,828	7,739
貸倒引当金	△12,909	△12,742
資産の部合計	3,509,420	3,520,323
負債の部		
預金	2,953,676	2,967,485
譲渡性預金	263,846	167,687
コールマネー及び売渡手形	2,219	22,479
債券貸借取引受入担保金	6,514	31,525
借入金	42,404	56,717
外国為替	0	16
その他負債	21,007	52,385
役員賞与引当金	25	6
退職給付に係る負債	2,133	2,187
役員退職慰労引当金	18	20
睡眠預金払戻損失引当金	391	297
偶発損失引当金	249	250
繰延税金負債	8,160	8,854
支払承諾	7,828	7,739
負債の部合計	3,308,475	3,317,651
純資産の部		
資本金	12,089	12,089
資本剰余金	5,666	5,666
利益剰余金	154,162	155,492
自己株式	△2,945	△2,918
株主資本合計	168,973	170,330
その他有価証券評価差額金	37,030	37,643
繰延ヘッジ損益	△3,939	△4,196
退職給付に係る調整累計額	△1,327	△1,291
その他の包括利益累計額合計	31,762	32,156
新株予約権	208	185
純資産の部合計	200,944	202,672
負債及び純資産の部合計	3,509,420	3,520,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
経常収益	13,886	12,052
資金運用収益	8,505	7,801
(うち貸出金利息)	4,397	4,333
(うち有価証券利息配当金)	4,094	3,461
役務取引等収益	2,033	2,162
その他業務収益	1,217	1,030
その他経常収益	2,130	1,057
経常費用	12,690	9,509
資金調達費用	327	303
(うち預金利息)	127	103
役務取引等費用	798	799
その他業務費用	1,101	1,113
営業経費	7,067	6,745
その他経常費用	3,394	547
経常利益	1,196	2,542
特別利益	19	1
固定資産処分益	19	1
特別損失	15	26
固定資産処分損	2	3
減損損失	13	23
税金等調整前四半期純利益	1,200	2,517
法人税、住民税及び事業税	771	74
法人税等調整額	△655	481
法人税等合計	115	556
四半期純利益	1,085	1,961
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,085	1,961

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,085	1,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,685	613
繰延ヘッジ損益	△3	△256
退職給付に係る調整額	70	36
その他の包括利益合計	△1,617	393
四半期包括利益	△532	2,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△532	2,355

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

1. 損益の状況

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期	前年同期比	2019年3月期 第1四半期
経常収益	11,178	△ 1,689	12,867
業務粗利益	8,570	△ 713	9,283
資金利益	7,755	△ 650	8,405
役務取引等利益	1,009	122	887
その他業務利益	△ 194	△ 186	△ 8
(うち国債等債券損益)	△ 106	△ 172	66
経費(△)	6,377	△ 271	6,648
うち人件費	3,306	△ 122	3,428
うち物件費	2,559	△ 85	2,644
実質業務純益 ※1	2,192	△ 443	2,635
コア業務純益 ※2	2,299	△ 269	2,568
除く投資信託解約損益	1,822	71	1,751
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 1,183	1,183
業務純益	2,192	740	1,452
臨時損益	532	377	155
うち不良債権処理額(△)	36	△ 1,811	1,847
うち貸倒引当金戻入益	241	241	—
うち株式等関係損益	355	△ 1,681	2,036
経常利益	2,725	1,118	1,607
特別損益	△ 24	△ 28	4
法人税等	519	437	82
四半期純利益	2,180	651	1,529

<単体> ※増減は前年同期比

■経常収益～111億円(△16億円)
資金運用収益や有価証券売却益の減少などにより16億円減少

■業務粗利益～85億円(△7億円)
資金利益の減少などにより7億円減少

■経費～63億円(△2億円)
人件費、物件費の減少などにより2億円減少

■実質業務純益～21億円(△4億円)
業務粗利益の減少などにより4億円減少

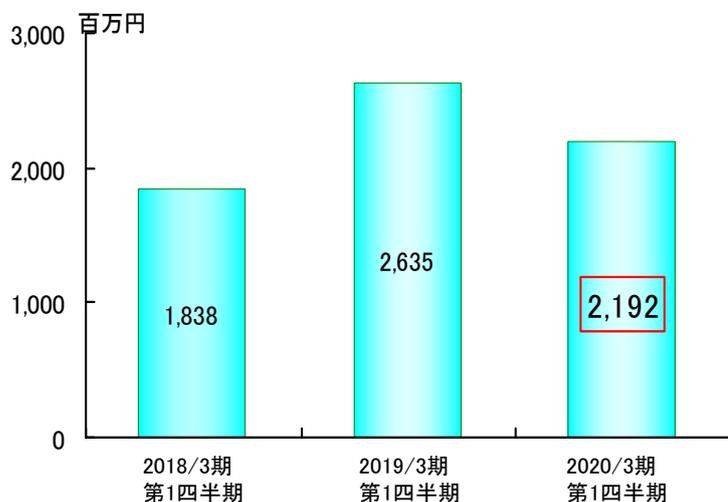
■経常利益～27億円(+11億円)
実質業務純益や株式等関係損益は減少したものの、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額などの与信費用が減少したことなどにより11億円増加

■四半期純利益～21億円(+6億円)
上記の要因により6億円増加

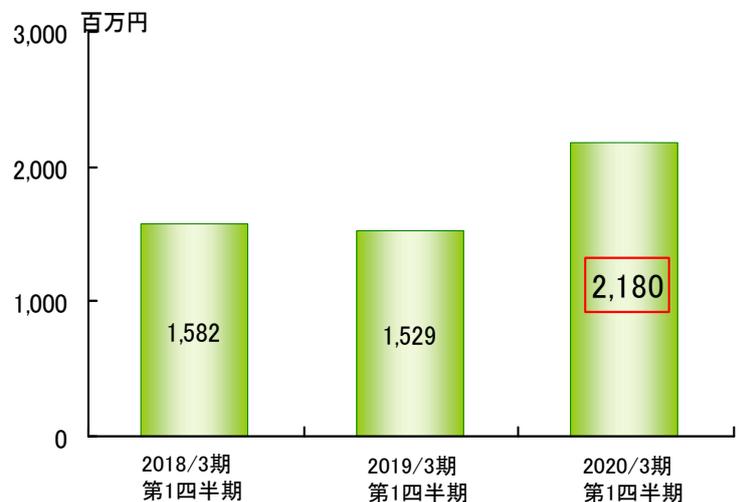
※1. 実質業務純益=業務粗利益(資金利益+役務取引等利益+その他業務利益)-経費

※2. コア業務純益=業務粗利益(資金利益+役務取引等利益+その他業務利益)-経費-国債等債券損益

実質業務純益の推移(単体)



四半期純利益の推移(単体)



2. 貸出金

貸出金残高は、法人向け貸出および個人向け貸出が増加したことなどにより、前年同期比256億円(1.4%)増加の1兆7,776億円となりました。

また、平均残高は、同453億円(2.6%)増加の1兆7,841億円となりました。

(単位: 億円、%)

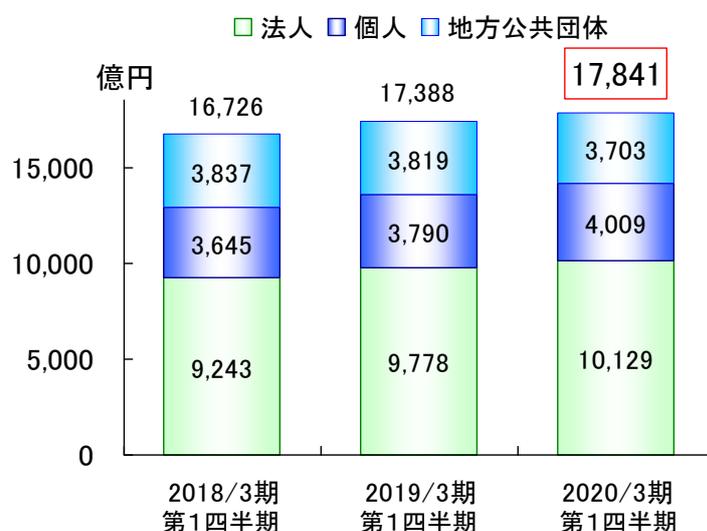
	2017年6月末	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
貸出金末残	16,620	17,520	17,776	256	1.4	17,993
貸出金平残	16,726	17,388	17,841	453	2.6	17,638

※平残は第1四半期(3カ月間)の計数

貸出金末残の推移



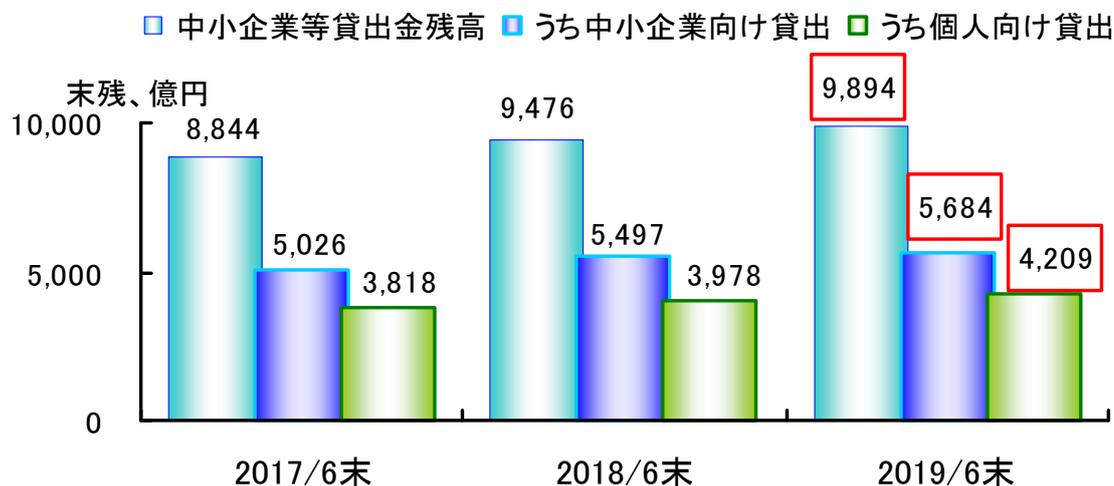
貸出金平残の推移



【中小企業等貸出金の状況】

中小企業等貸出金残高は前年同期比418億円増加の9,894億円となりました。このうち、中小企業向け貸出金残高は、前年同期比187億円増加の5,684億円、個人向け貸出金残高は、同231億円増加の4,209億円となりました。

中小企業等貸出金残高の推移



3. 預金等(譲渡性預金を含む)

預金等残高は、公金預金および個人預金が増加したことなどから、前年同期比454億円(1.4%)増加の3兆1,439億円となりました。

一方、平均残高は、公金預金の減少を主因として同197億円(0.6%)減少し、3兆1,127億円となりました。

(単位:億円、%)

	2017年6月末	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
預金等末残	31,314	30,985	31,439	454	1.4	32,268
預金等平残	31,519	31,324	31,127	△197	△0.6	30,408

※平残は第1四半期(3カ月間)の計数

預金等末残の推移



預金等平残の推移

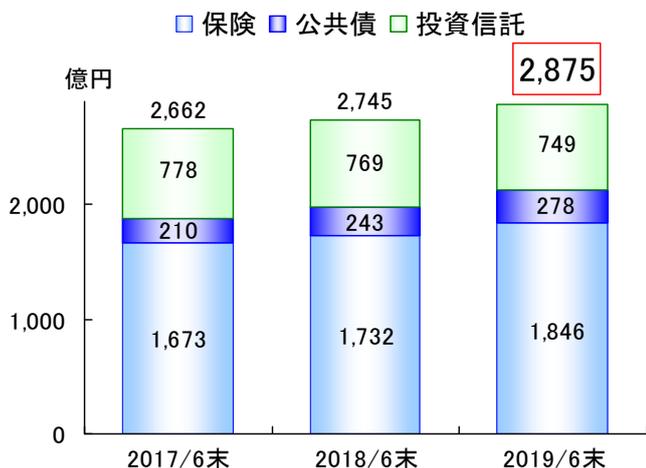


4. 預り資産

預り資産の残高は、保険の増加により、前年同期比130億円増加の2,875億円となりました。

また、期中販売額は、105億円となり、前年同期比13億円増加しました。

預り資産残高の推移



※保険については有効契約残高を記載しております。

預り資産販売額

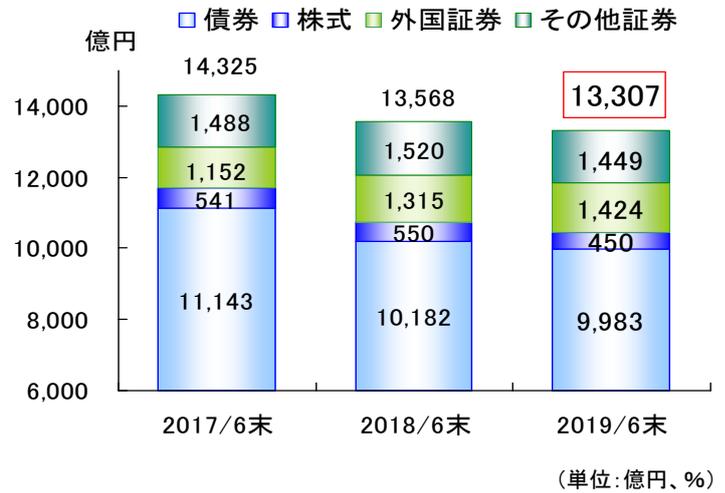
(単位:億円、%)

	2020年3月期 第1四半期 (3カ月間)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
販売合計	105	13	14.1%
投資信託	43	△5	△10.4%
公共債	21	10	90.9%
保険	39	7	21.9%

5. 有価証券

有価証券残高は、国債等の債券運用残高が減少したことなどにより、前年同期比261億円(1.9%)減少の1兆3,307億円となりました。
また、平均残高は、同533億円(3.9%)減少の1兆2,809億円となりました。

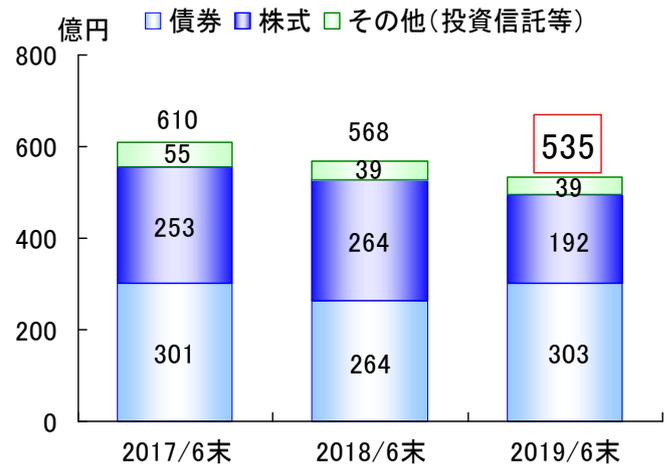
有価証券末残の推移



	2017年6月末	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2019年3月末
有価証券末残	14,325	13,568	13,307	△ 261	△ 1.9	12,219
有価証券平残	13,899	13,342	12,809	△ 533	△ 3.9	13,073

※平残は第1四半期(3ヵ月間)の計数

有価証券の評価差額(含み益)の推移



(1) 有価証券の評価差額(含み益)の状況

有価証券の評価差額(含み益)は、前年同期比33億円減少し、535億円(うち債券303億円、株式192億円、投資信託等39億円)となりました。

(2) 有価証券関係損益

有価証券関係損益は、株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比18億円減少の2億円となりました。

	2018年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2020年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	前年同期比	2019年3月期
					2019年3月期
国債等債券損益 A	△ 71	66	△ 106	△ 172	△ 1,025
売却益	202	225	59	△ 166	282
償還益	—	—	—	—	—
売却損(△)	—	—	3	3	79
償還損(△)	273	159	162	3	1,228
償却(△)	—	—	—	—	—
株式等損益 B	339	2,036	355	△ 1,681	4,070
売却益	384	2,038	749	△ 1,289	4,225
売却損(△)	45	—	85	85	126
償却(△)	0	1	307	306	29
有価証券関係損益 A+B	267	2,102	249	△ 1,853	3,044

(単位: 百万円)

6. 与信費用

与信費用は、貸倒引当金の取崩に伴う戻入益の計上などにより、マイナス2億円となりました。

(単位:百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2019年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2020年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	前年同期比	2019年3月期
与信費用	△ 57	3,030	△ 205	△ 3,235	4,134
一般貸倒引当金繰入額	—	1,183	—	△ 1,183	536
不良債権処理額	—	1,847	36	△ 1,811	3,598
貸出金償却	—	—	—	—	0
個別貸倒引当金繰入額	—	1,807	—	△ 1,807	3,496
偶発損失引当金繰入額	—	39	36	△ 3	65
債権売却損	—	—	—	—	35
貸倒引当金戻入益(△)	33	—	241	241	—
偶発損失引当金戻入益(△)	23	—	—	—	—

7. 金融再生法開示債権

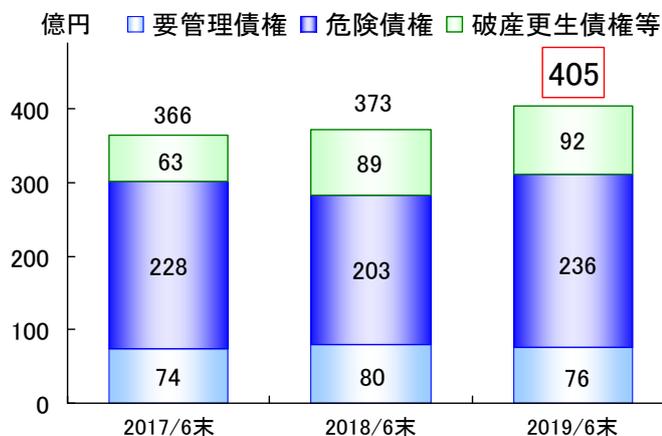
金融再生法開示債権は、前年同期比32億円増加の405億円となりました。

また、不良債権比率は、不良債権残高の増加により、前年同期比0.15ポイント上昇し、2.26%となりました。

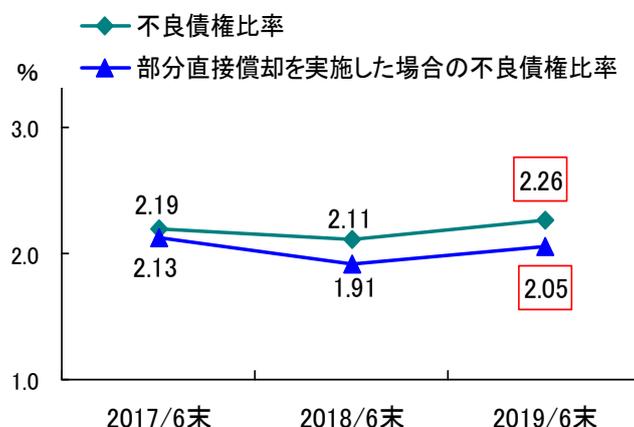
(単位:億円)

	2017年6月末	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比	2019年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	63	89	92	3	97
危険債権	228	203	236	33	237
要管理債権	74	80	76	△ 4	73
合計	366	373	405	32	408

金融再生法開示債権の推移



総与信額に対する比率の推移



8. 自己資本比率

2019年6月末時点の自己資本比率(国内基準)については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。